

1 どういう性格・パーソナリティか

型	性格の側面		弱	強	指数
思索型	内閉性	社交意識が低い			48
	客観性	思考的思慮深い			71
活動型	身体性	機敏な・気軽な			58
	気分性	感情のまま行動			47
努力型	持続性	几帳面・忍耐力			53
	規則性	常識的・順法的			40
積極型	競争性	勝気な・積極的			53
	自尊心	気ぐらいが高い			66
自制型	慎重性	見通しをつける			57
	弱気さ	取越苦労・遠慮			54

●この人の中心性格は「思索・客観性」および「積極・自尊心」であるが、「活動・身体性」や「自制・慎重性」といった側面も本人は意識している。

●「思索・客観性」及び「積極・自尊心」の人のパーソナリティスケッチ
社会への関心はあり、豊かな内面性をもっている。着実な発想ながら、おもしろいアイデアもできることがある。また、何事においても自分の考えをじっくりと検討して、結果のみにこだわらず、経過をみながら物事を把握しようとする傾向がある。あまり、人情的に深入りすることは少ないものの、自分と他人とを比較してしまい気にすることもある。こうした傾向は自信をもっている人に多いが、他人がいい加減な行動をとったりすることには我慢ができず、自分本位の厳しい発言をしてしまうことがある。この人のことをよく理解していない間柄の人間関係では、衝突する可能性もある。そして、自分だけが満足すればよしとするようなところが多少みられ、また、一人悦に入っているような独善性が、社会的価値を高める障害になっている。わりと気位の高いところがあり、自己顕示性が少ないと、ひとりよがりになってしまう。しかし、おだてに弱く、ちょっと褒められると、ついその気になって調子に乗ってしまうような幼児的な可愛いところもある。

●もう一方の性格特性
規則や秩序を気にせず、自由奔放な行動をとる。常識的、固定的な発想ばかりでなく、柔軟な考え方ができる。ルールにしばられてコチコチなわけでもなく、気ままな生活ぶりである。ただ、社会秩序を気にしないことが何に関係するか見極めが必要かも知れない。

2 ストレス耐性

ストレスの種類	弱	強	指数
対人ストレス耐性			54
目標ストレス耐性			55
繁忙ストレス耐性			51
拘束ストレス耐性			40
総合ストレス耐性			48

信頼係数



回答に多少あいまいなところもあるが、およその部分が信頼できる診断結果である。

3 基礎的な職場場面での社会性

診断項目	弱	強	指数
積 極 性			59
協 調 性			61
責 任 感			46
自己信頼性			47
指 導 性			66
共 感 性			70
感情安定性			41
従 順 性			39
自 主 性			54
モットー傾向			50

仲間と一緒に考え、協力して目標に向かうことができる。

皆から頼りにされ、意見や行動をまとめていこうとする。
環境内の仲間と同じ立場になり、物事を考えようとする。

強く命令されたりすると、その相手に対して反感をもつ。

4 どういうことに意欲・ヤル気をだすか

意欲の側面	弱	強	指数
達成 欲求			52
自律 欲求			52
求知 欲求			47
危機 耐性			53
勤労 意欲			64
顕示 欲求			63
支配 欲求			67
親和 欲求			58
秩序 欲求			52
物質的欲望			64

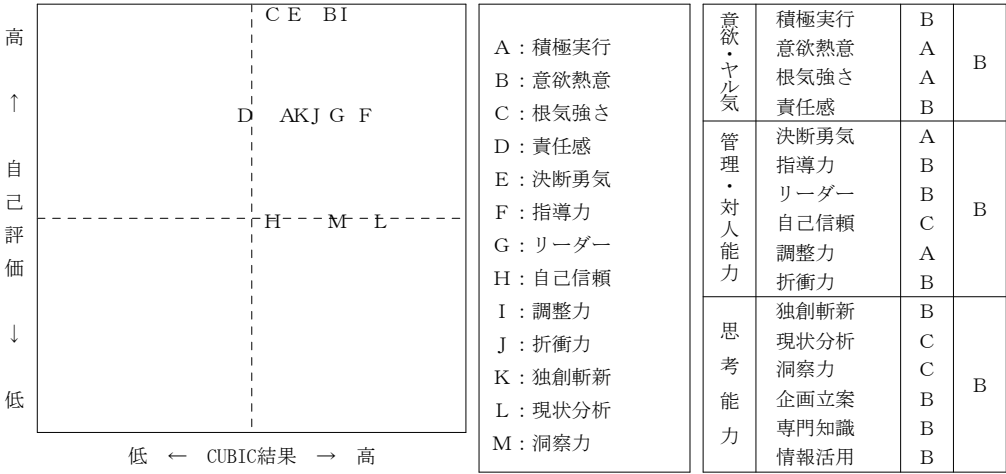
仕事への意欲があり、生きがいの部分として考えている。

自分が輪の中心となり、人を楽しませたり興奮させたい。
人の上に立ち、他人を動かすような力関係を形成したい。

モノを獲得し保持したい、失いたくないなど物欲がある。

●この人は「人より優位に立ちたい」系統の欲求群が一番強く、
ついで「対人関係が気になる」系統の欲求群となっている。
逆に「より高い水準に自分をしたい」系統の欲求群には淡泊な反応である。

【自己認識】



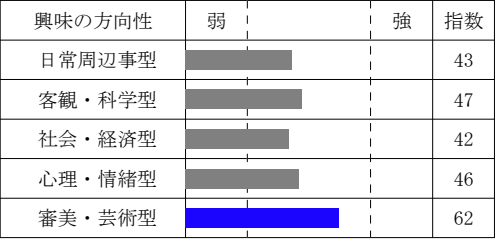
【面談時のポイント】

客観性が高く、従順性が低いときは他人の忠告を受け入れにくいと思われる。
「適性検査の結果に他人からのアドバイスを受け入れにくい方だと出ていますが、自分自身はどう思いますか」

客観性と支配欲求がどちらも高いときは相手に冷ややかに接することはないか確認する。
「適性検査の結果に冷静に物事を判断できるほうだと出ていましたが、周囲の人に接するとき、どのようなことを心がけていますか」

指導性と支配欲求の指数がどちらも高いときは他人に対して高圧的でないか確認する。
「適性検査の結果には皆の上に立つ指導者的立場をとることが多いと出ていますが、自分自身を振り返るとどうでしょうか」

【どういう関心事・興味領域を持っているか】



芸術的関心が高く、世界を美的観点でとらえようとする。

【能力検査結果】

科 目	内 容	得 点	偏差値	正答率	順 位
言語 I	語句の意味、文の完成など基本的な言語能力	0	0	0.0%	1/3
数理 I	四則演算、単位の変換など基本的な計算能力	0	0	0.0%	1/1
図形 I	図形系列の把握、図形の分割・構成等の知覚	0	0	0.0%	1/1
論理 I	単純なひらめき（推理力）、論理的な思考力	0	0	0.0%	1/1
総 合		0	0	0.0%	1/1

【職務適性】

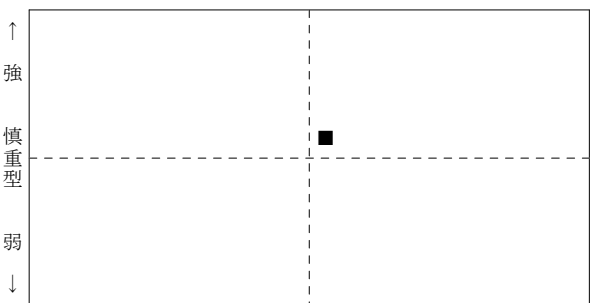
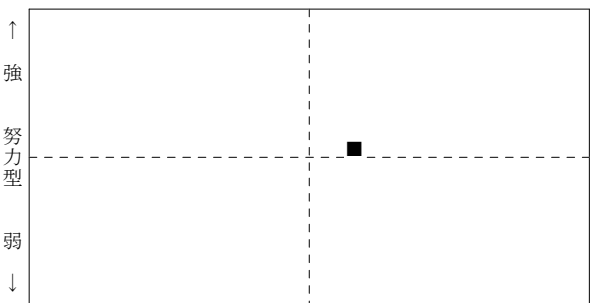
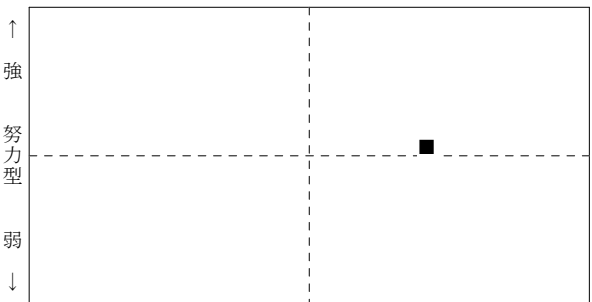
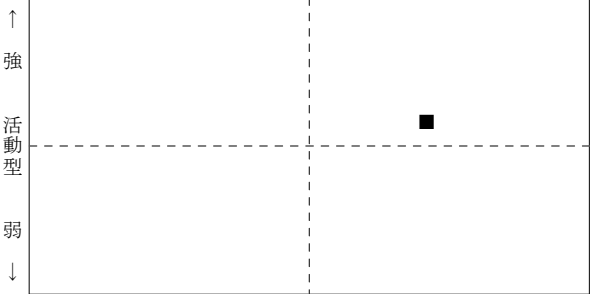
職務名	努力←→最適				
未設定					
未設定					
未設定					
未設定					
未設定					
未設定					

【設定基準結果】

項目		基準	結果	差	判定結果
未設定					
未設定					
未設定					
未設定					
未設定					
適合度					

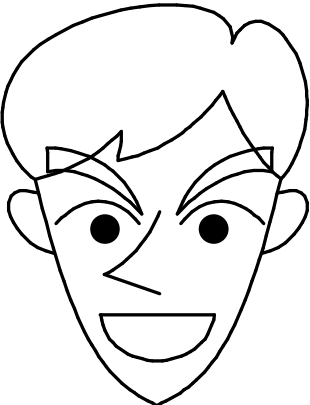
【本人の性格特性】

■印が本人の位置



【心理要素イメージ】

眉の太さ：指導性
瞳の直径：達成欲求
鼻の高さ：顕示欲求
顔の輪郭：性格類型
逆三角顔＝ 思索型
エラ顔 ＝ 積極型
細長顔 ＝ 自制型
眉の傾き：従順性
目の傾き：達成欲求＋求知欲求
口の形状：親和欲求＋協調性
丸顔 ＝ 活動型
角顔 ＝ 努力型



【自己評価】

意欲・ヤル気				管理・対人能力				思考能力			
積極	意欲	根拠	責任	決断	指導	リ	自己	調整	折衝	独創	現状
実熱	意欲	根拠	責任	決断	指導	リ	自己	調整	折衝	独創	現状
行意	意欲	根拠	責任	決断	指導	リ	自己	調整	折衝	独創	現状
B	A	A	B	A	B	B	C	A	B	B	C
B				B				B			

【採用判定】

定着性・安定性 ＝ -1

CUBICの判定結果＝「C」

【判定結果A】予測推定値（見所）

（１） 一般的職場状況での可能性		48
（２） 海外など精神力の必要な職務		47
（３） 足腰のよさが武器になる職務		50
（４） 集中力、緻密さの必要な職務		41
（５） 標準化された仕事や工場労働		52

【判定結果B】当人の傾向

「内勤型職務」 ☒ 「外勤型職務」
「組織型人間」 ☒ 「非組織人間」

【判定結果C】大まかな職業興味領域とその方向性

- （１）「適切」企画、組織の運営、経営管理のような仕事
- （２）「適切」音楽、創作、文芸など芸術的な仕事や活動
- （３）「適切」物を対象とする、具体的で実際的な仕事
- （４）「適度」営業など対人的接触をとまう仕事
- （５）「適度」規則や慣習に従った行動、事務的な仕事
- （６）「適度」研究的、探索的な仕事や活動の領域

【判定結果D】配置適性 1

《適性の高い順》

- （１）「適切」広報管理者
- （２）「適切」広報専任者
- （３）「適切」企画管理者
- （４）「適切」営業管理者
- （５）「適切」企画専任者
- （６）「適度」営業専任者

《低い順》

- （１）「努力」経理専任者
- （２）「努力」経理管理者
- （３）「小適」秘書専任者
- （４）「小適」研究開発者
- （５）「小適」営繕専任者

【判定結果E】配置適性 2

- （１）「適切」広報
- （２）「適切」商品企画・開発
- （３）「適切」新規事業開発
- （４）「適切」広告・宣伝
- （５）「適切」庶務
- （６）「適切」営業（活動タイプ）
- （１）「努力」購買
- （２）「努力」経理
- （３）「努力」品質管理
- （４）「小適」人事
- （５）「小適」倉庫